

# 東浦町認知症施策 令和2年度実績・令和3年度計画(案)

資料1-3

事業名	令和2年度実績(11月末)	令和3年度計画(案)
<b>1</b> 重点目標1【認知症への理解が深まっている】★条例第9条 (事業の目標①)認知症という症状に対する知識が深まり、対応力が向上する (事業の目標②)認知症の人も変わらない、という認識が深まり、対応力が向上する		
認知症サポーター養成講座 (事業の目標①) (事業の目標②)	開催回数:18回 養成人数:748人 【子ども】 町内全小学4年生・中学1年生、東浦高校野球部 ※ボランティアグループ「オレンジパラソル」の劇を披露 開催回数:8回 養成人数:611名 【地域住民】 巽ヶ丘ハイツ 民生委員連絡協議会 ラポールもりもり ふれあいサロン東ヶ丘 開催回数:5回 養成人数:105名 【保育園・児童館の保護者】 保育園、児童館等 開催回数:0回 養成人数:0名 【職場】 イオン、老人保健施設相生 開催回数:5回 養成人数:32名	継続 ・町内全小学4年生・中学1年生向けの開催を継続 ・若年層を対象とした開催を検討 ・各地区のサロンや小規模グループ等で、地域の実情に合わせた内容での開催を継続 ・店舗等の民間企業での開催(企業研修内等)を検討(「あいち認知症パートナー企業」との連携) ・条例や賠償事故補償保険、ケアパスなどの情報提供 →認知症サポーターの活動促進(コーディネーターは認知症地域支援推進員が担う。)
認知症サポーターフォローアップ講座 (事業の目標①) (事業の目標②)	日時:令和3年3月9日、令和3年3月16日(予定) 場所:文化センター 対象:認知症サポーター(認知症サポーターでない人でも受講は可) 内容:若年性認知症と認知症当事者の社会参加活動の啓発 地域の生活支援団体の活動と連動(予定) 講師:愛知県若年性認知症総合支援センター 山口喜樹氏 東浦町生活支援団体等	継続 日時:未定 場所:未定 対象:認知症サポーター 内容:未定 講師:未定 ・認知症の方の社会参加活動の啓発 ・本人の意思決定についての周知 ・身近な地域での開催を継続
広報活動 (事業の目標①) (事業の目標②)	・講演会 【認知症フォーラムin東浦】 テーマ:認知症にやさしいまちづくり条例 →新型コロナウイルス感染拡大にともない中止 ・認知症にやさしいまちづくり推進条例啓発パンフレットの作成、配布 設置場所:ふくし課、各コミュニティーセンター、高齢者相談支援センター等 公民連携協定企業に直接配布	新 講演会 在宅医療介護連事業と合同で開催予定 日時:11月23日(火・祝) 場所:文化センター 対象:地域住民 内容:ACP啓発講演会 ・住民向けにイオン内での認知症の普及啓発 日時:9月(予定)※アルツハイマーデーに合わせて 場所:イオンホール(予定) 対象:地域住民 内容:認知症について、認知症条例、認知症高齢者等賠償事故補償保険の紹介等 ・地域のサロン等へ出向き認知症の普及啓発
認知症カフェの設置・支援 (事業の目標①) (事業の目標②)	・認知症カフェ「ひだまりカフェ」 日時:毎週水曜日9:30~11:30 場所:にじいろひろば(福祉センター) 内容:相談受付、脳トレ、認知症ミニ講座、回想法等 開催回数:21回 参加者数:201名 ・認知症予防カフェ(コミュニティ型) 日時:11月21日(土)10:00~11:30 場所:卯ノ里コミュニティセンターホール 主催:卯ノ里コミュニティ推進協議会・まちづくり実行委員会・福祉部会 内容:第1部「認知症にやさしいまちづくり推進条例 認知症高齢者等賠償事故補償保険のお話し」 第2部「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのお話し」 参加者数:46名 ・出前型カフェ「こころや」 日時:11月15日(日)10:00~12:00 場所:文化センター 内容:感染症予防について学ぼう 開催回数:1回 参加者数:49名 ・介護事業所や地域団体での認知症カフェの開催に向けた支援	継続 ・認知症カフェ「ひだまりカフェ」 日時:毎週水曜日9:30~11:30 場所:にじいろひろば(福祉センター) 内容:相談受付、脳トレ、認知症ミニ講座、回想法等 ・認知症予防カフェ(コミュニティ型) 日時:未定 場所:未定 主催:卯ノ里コミュニティ推進協議会福祉部会 ・出前型カフェ 随時対応 ・既存の認知症カフェの後方支援 ・介護事業所や地域団体での認知症カフェの開催の支援 ・「居場所づくり」との協働 ・本人ミーティングと連携 ・町Twitter、FaceBookを活用した周知

事業名	令和2年度実績(11月末)	令和3年度計画(案)
<b>2</b> 重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】★条例第10条 (事業の目標①)本人のための応援者が増える (事業の目標②)本人及び家族等が暮らしに関わる必要なサービスを安心して利用することができる (事業の目標③)本人による事故に係る損害の救済がある (事業の目標④)地域社会への参加をを行うことができる (事業の目標⑤)本人の意見が把握できる (事業の目標⑥)地域にある資源を誰もが当たり前知っている		
認知症サポーター養成講座(再掲) (事業の目標①)(事業の目標②)(事業の目標④)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症サポーター養成講座」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症サポーター養成講座」に同じ
認知症サポーターフォローアップ講座(再掲) (事業の目標①)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症サポーターフォローアップ講座」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症サポーターフォローアップ講座」に同じ
広報活動(再掲) (事業の目標①)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「広報活動」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「広報活動」に同じ
認知症カフェの設置・支援(再掲) (事業の目標①)(事業の目標⑤)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症カフェの設置・支援」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症カフェの設置・支援」に同じ
公民連携協定 (事業の目標②)	・協定企業数47社のうち認知症高齢者支援を行う企業30社 ・取組の対象者を拡大。高齢者のみではなく、子ども、障がい者向けの取組を行う企業も協定の対象とした 【公民連携協定における認知症高齢者支援】 ・認知症サポーターの養成 ・行方不明高齢者等検索メール配信システム「みまもりねっと」の登録	継続 ・協定企業の拡充 ・協定企業へタペストリー配布および認知症サポーターがいる企業へ「認知症サポーターいるよシール」を配布し、協定企業の周知
成年後見制度の理解・利用促進 (事業の目標②)	・成年後見制度相談件数 123件	継続
認知症高齢者等賠償事故補償保険 (事業の目標③)	新 認知症の人が日常生活におけ偶然の事故によって、法律上の損害賠償を負う場合に備えた保険を開始 加入者:128名	継続 ・ふくし課、高齢者相談支援センター、イベント内等で周知 ・必要に応じて、サロン等地域に出向いて制度の説明を実施
当事者の社会参加 (事業の目標④)	新 社会参加事例数:1回 事例内容:にじいろひろばでのボランティア 参加者数:1名 ※12月4日より開始	・認知症当事者のニーズ把握 ・地域活動や介護事業所の事業を活用し社会参加活動場所の開拓 ・地域住民及び企業へ働きかけ社会参加活動に対する理解促進
本人や家族のニーズ把握 (事業の目標⑤)	【本人ミーティング】 場所:にじいろひろば(福祉センター) 日時:7月17日(金)10:00~11:30 9月18日(金)10:00~11:30 内容:中北薬品手洗い講義、レコード鑑賞、等 参加者数:6名	継続 【本人ミーティング】 →実施方法、実施内容については要検討
助さんの配布((事業の目標⑥))	・高齢者の生活に役立つ情報を記載した冊子を配布 設置個所:ふくし課窓口、高齢者相談支援センター、コミュニティセンター、老人憩いの家、町内各施設等	継続 ・内容の見直し、改訂版の作成

# 東浦町認知症施策 令和2年度実績・令和3年度計画(案)

資料1-3

	事業名	令和2年度実績(11月末)	令和3年度計画(案)
3	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】★条例第11条 (事業の目標①)安心して外出することができる (事業の目標②)災害が起きても安心できる支援がある		
	認知症高齢者等賠償事故補償保険(再掲) (事業の目標④)	重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】の「認知症高齢者等賠償事故補償保険」に同じ	重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】の「認知症高齢者等賠償事故補償保険」に同じ
	行方不明高齢者等家族支援事業(GPSの貸与) (事業の目標①)	利用者7名(新規申請者2名、削除者2名)	継続 ・利用者拡大の検討 ・端末機の見直し等効果的な搜索方法の検討
	認知症高齢者等登録 (事業の目標①)	・ふくし課窓口、高齢者相談支援センターの個別相談等において周知 ・登録者数:159名(新規申請者75名)	継続 ・認知症高齢者等賠償事故補償保険と合わせて周知
	みまもりねっと(行方不明高齢者等搜索メール配信システム)の運用・普及 (事業の目標①)	・行方不明者搜索メール配信(町内2回、町外4回配信) ・認知症に関する情報を「知っとこニュース」として奇数月に配信(4回配信) ・窓口や認知症サポーター養成講座等で周知(登録者数:1,007人その内新規64人)	継続
	行方不明高齢者等搜索模擬訓練 (事業の目標①) (事業の目標②)	【藤江コミュニティ推進協議会主催「オレンジ運動」】 場所:藤江地区(藤江公民館周辺地域) 【生路コミュニティ推進協議会主催「認知症サポート運動」】 場所:生路地区(生路コミュニティセンター周辺地域) 【卯ノ里コミュニティ推進協議会主催「キャサリンおばあちゃんを探せ」】 場所:高根中央公園 【高齢者相談支援センター主催「きみがヒーローだ!声かけ大作戦」】 場所:にじいろフェスタ会場内  →新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	継続 ・コミュニティでの開催の後方支援 ・幅広い世代を巻き込む仕組みでの開催を検討 ・実施していない地域への実施の働きかけ
	避難行動要支援者登録の運用・普及(事業も目標②)	登録者数558名うち新規登録者数29名 ・ふくし課、防災交通課、高齢者相談支援センター、社会福祉協議会、民生委員、自主防災会で登録者について共有 ・登録者本人に対し「避難行動要支援者登録のお知らせ」を配布 ・東浦町の防災対策についての研修会を開催 日時:令和2年12月11日(金) 場所:文化センター 対象者:民生委員 参加者数:69名	継続 ・関係者間で常に最新の情報を共有する方法を検討
	個別避難計画の作成 (事業の目標②)	・ふくし課、防災交通課、高齢者相談支援センター、社会福祉協議会、民生委員、自主防災会で登録者について共有 ・登録者本人に対し「避難行動要支援者登録のお知らせ」を配布	・モデル地区での計画策定を検討
福祉避難所の整備、運用 (事業の目標②)	・実施なし	新 福祉避難所に指定している社会福祉施設等と協議の場を設	



	事業名	令和2年度実績(11月末)	令和3年度計画(案)
4	重点目標4【認知症の予防ができている】★条例第12条 (事業の目標①) 認知症の予防に取り組んでいる		
	介護予防教室 (事業の目標①)	【脳トレ教室】 ・総合事業の一般介護予防教室として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【地区健康相談・サロン出前講座】 ・地区健康相談・サロン出前講座の作業療法士の講話 ・地区健康相談は新型コロナウイルス感染症の影響により講話中止 ・サロン出前講座1回 12名	継続 脳トレ教室を開催 ・総合事業の一般介護予防教室として開催 令和2年度までと同様に各地区・各サロンで作業療法士による講話を実施
	健康マイレージ (事業の目標①)	・対象年齢は満18歳以上(高校生を除く) ・実施期間は4月1日～翌年3月31日 ・チャレンジカードの提出は同年度内1人につき1回 ・60歳未満の方は景品はチャレンジ達成賞(あいち健康づくり応援カードの進呈) ・60歳以上の方にはチャレンジ達成賞に加え、以下の利用券を最大5枚まで組み合わせて進呈 ①うらら乗車券11枚綴り(最大1枚まで)、②プール等施設利用補助券、③町内運動教室利用券 ・60歳以上の対象者数15,364名(11月末現在) ・60歳以上の参加者数510名(参加率3.3%) ・同好会へのポイント貸与数12個	継続 対象年齢、期間等は令和2年度と同様の予定
	フレイルスクリーニング事業 (事業も目標①)	・虚弱高齢者の早期発見、把握を目的として実施 ・長寿健診の問診票にフレイル項目の追加 ・健診受診期間はR2年6月1日から10月30日まで	継続 ・虚弱高齢者の早期発見、把握を目的として実施 ・75歳以上の方を対象とする長寿健診でのフレイル等の早期発見 ・長寿健診の問診票と健診データを解析し、フレイルハイリスク者へ個別アプローチを実施
	プラチナ健診 (事業の目標①)	・プラチナ健診を10月から実施	プラチナ健診の実施
	ACPの周知 (事業の目標①)	<b>新</b> 【在宅医療介護連携部会】 ・ACPパンフレットの作成 ワーキングの中で内容検討し、パンフレットを作成  ・講座 日時: 11月28日(土) 場所: 文化センター 対象: 地域住民 内容: ACPについて →新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	【在宅医療介護連携部会】 ・ACPパンフレットの配布 認知症ケアパスと合わせて配布  ・講演会 日時: 11月23日(火・祝) 場所: 文化センター 対象: 地域住民 内容: ACP啓発講演会

# 東浦町認知症施策 令和2年度実績・令和3年度計画(案)

資料1-3

	事業名	令和2年度実績(11月末)	令和3年度計画(案)
5	重点目標5【認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護の提供ができています】★条例第13条 (事業の目標①)専門職チームが確立されている (事業の目標②)専門医が身近にいる (事業の目標③)事業所間・専門職間の連携がとれている (事業の目標④)医療・介護の専門職が住民の意思決定・意志実現を支援することができる (事業の目標⑤)自分の望む暮らしについて事前に考えることができ、思いを周囲と共有できている (事業の目標⑥)地域にある資源を、誰もが当たり前知っている		
	認知症初期集中支援チーム (事業の目標①)	・高齢者相談支援センターで月1回実施 (チームメンバー:認知症サポート医、包括職員、行政職員) ・検討委員会の設置・開催(認知症施策部会の中で開催) ・新規件数:16名 ・医療や介護サービスにつながった件数:13名 ・医療や介護サービスにつながった割合:81% ・認知症サポート医・かかりつけ医との連携(認知症サポート医の認知症初期集中支援チーム員会議参加)	継続 ・モニタリングの強化
	認知症サポート医、認知症対応力向上研修受講者がいる医療機関の紹介 (事業の目標②) (事業の目標⑥)	認知症ケアパス、在宅医療介護連携パンフレットにて周知 ・認知症サポート医在籍箇所 医療機関:4 歯科:0 薬局:0 ・認知症対応力向上研修受講者在籍箇所 医療機関:9 歯科:1 薬局:2	継続 ・改訂版認知症ケアパス配布開始 ・在宅医療介護連携パンフレット内容の見直し
	認知症多職種連携講座 (事業の目標③)	→ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	継続 日時:未定 場所:未定 内容:未定 ・地域資源について関係機関への情報提供 ・ACPIについての研修会 ・事前に本人に意思表示を確認する取り組み
	おだいちゃんネットワーク(ICT)の活用 (事業の目標③)	【在宅医療介護連携部会】 ・広域的な使用が可能となった ・ICT運用(登録事業所数121か所、利用者数275人、支援対象者数192人)	継続 ・利用促進のための説明会を実施
	医療・介護関係者へACPの周知 (事業の目標④)	【在宅医療介護連携部会】 ・ACPパンフレットの作成 ワーキングの中で内容検討し、パンフレットを作成	【在宅医療介護連携部会】 ・ACPパンフレットの配布 認知症ケアパスと合わせて配布  ・講演会 日時:11月23日(火・祝) 場所:文化センター 対象:地域住民 内容:ACP啓発講演会
	ふくし向上ケアカンファレンス (事業の目標④)	・医療・介護職種が幅広く参加できるふくし向上ケアカンファレンス(自立支援型地域ケア個別会議)を月1回実施 日時:9月17日(木)、10月28日(水)、11月26日(木)、12月16日(水)、令和3年1月28日(木)、令和3年2月28日(水)、令和3年3月18日(木) 場所:文化センター 参加者数:延べ60名 参加職種:歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、栄養士、看護師、CSW	継続 日時:毎月第4木曜日(予定) 場所:文化センター ・取り扱う事例内容を検討。居宅支援事業所のケアマネジャーに事例提供を依頼する
	認知症ケアパスの活用 (事業の目標⑤) (事業の目標⑥)	・内容の見直し、改訂版の発行 設置箇所:ふくし課、各コミュニティセンター、町内病院、保健センター、高齢者相談支援センター等	継続 ・改訂版をACPパンフと合わせて配布 ・各コミュニティセンター、町内医療機関、町内介護事業所への配布、設置依頼 ・認知症サポーター養成講座での活用 ・多職種連携研修会での活用
	広報活動 (事業の目標⑤)	【在宅医療介護連携部会】 ・ACPパンフレットの作成 ワーキングの中で内容検討し、パンフレットを作成  ・講座 日時:11月28日(土) 場所:文化センター 対象:地域住民 内容:ACPIについて →新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	【在宅医療介護連携部会】 ・ACPパンフレットの配布 認知症ケアパスと合わせて配布  ・講演会 日時:11月23日(火・祝) 場所:文化センター 対象:地域住民 内容:ACP啓発講演会
	本人や家族のニーズ把握(再掲) (事業の目標⑤)	重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】「本人や家族のニーズ把握」に同じ	重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】「本人や家族のニーズ把握」に同じ
認知症カフェの設置・支援(再掲) (事業の目標⑤)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症カフェの設置・支援」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症カフェの設置・支援」に同じ	
助さんの配布(再掲) (事業の目標⑥)	重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】「助さんの配布」に同じ	重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】「助さんの配布」に同じ	

# 東浦町認知症施策 令和2年度実績・令和3年度計画(案)

資料1-3

	事業名	令和2年度実績(11月末)	令和3年度計画(案)
6	<b>重点目標6【相談できる体制が構築されている】★条例第14条</b> (事業の目標①)本人や家族が気軽に相談できる体制が構築させている (事業の目標②)支援者側が気軽に相談できる体制が構築されている		
	相談窓口の周知 (事業の目標①)	・町ホームページ、認知症ケアパス、在宅医療介護連携パンフレットに掲載 ・町広報「地域福祉シリーズ」に掲載	継続
	認知症カフェの設置・支援(再掲) (事業の目標①)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症カフェの設置・支援」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症カフェの設置・支援」に同じ
	支援者同士の交流 (事業の目標②)	・実施なし	新 実施検討を行う ・フォローアップ講座受講者に対し茶話会等を開催する
7	<b>重点目標7【家族等への支援体制が整備されている】★条例全体</b> (事業の目標①)支え合える仲間とつながることができる (事業の目標②)家族等(介護者)に理解のある企業が増える (事業の目標③)家族等(介護者)のための応援者が増える (事業の目標④)家族等(介護者)に寄り添った支援がある		
	介護者の会への支援・周知 (事業の目標①)	・ふくし課窓口において、介護者の会のパンフレット設置 ・町ホームページにて紹介	継続
	認知症カフェの設置・支援(再掲) (事業の目標①)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症カフェの設置・支援」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症カフェの設置・支援」に同じ
	認知症サポーター養成講座(再掲) (事業の目標②) (事業の目標③)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症サポーター養成講座」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症サポーター養成講座」に同じ
	認知症サポーターフォローアップ講座(再掲) (事業の目標③)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症サポーターフォローアップ講座」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「認知症サポーターフォローアップ養成講座」に同じ
	みまもりねっと(行方不明高齢者等検索メール配信システム)の運用・普及(再掲) (事業の目標③)	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】の「みまもりねっと(行方不明高齢者等検索メール配信システム)の運用・普及」に同じ	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】の「みまもりねっと(行方不明高齢者等検索メール配信システム)の運用・普及」に同じ
	行方不明高齢者等検索模擬訓練(再掲) (事業の目標③)	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】の「行方不明高齢者等検索模擬訓練」に同じ	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】の「行方不明高齢者等検索模擬訓練」に同じ
	広報活動(再掲) (事業の目標③)	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「広報活動」に同じ	重点目標1【認知症への理解が深まっている】の「広報活動」に同じ
	介護者教室の開催 (事業の目標④)	日時:1回目 令和2年8月31日 2回目 令和2年9月7日 3回目 令和2年9月28日 4回目 令和2年10月19日(全4回) 場所:福祉センター 内容:1回目 知っておきたい高齢者の排泄トラブル ~排泄トラブルの原因と対応~ 2回目 高齢者介護技術入門①~体位変換と移乗の介 助~ 3回目 介護者サポート教室 転倒からの復活 ~転んだあとの健康づくり~ 4回目 高齢者施設の選び方 ~どこで最期を迎えるか~ 参加者数:19名	日時:未定(令和3年6月~7月を予定) 全4回予定 場所:未定(福祉センターを予定) 内容:未定
	認知症高齢者等賠償事故補償保険(再掲) (事業の目標④)	重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】の「認知症高齢者等賠償事故補償保険」に同じ	重点目標2【認知症の人の視点に立った生活環境が整備されている】の「認知症高齢者等賠償事故補償保険」に同じ
行方不明高齢者等家族支援事業(GPSの貸与)(再掲) (事業の目標④)	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】の「行方不明高齢者等家族支援事業(GPSの貸与)」に同じ	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】の「行方不明高齢者等家族支援事業(GPSの貸与)」に同じ	
認知症高齢者等登録(再掲) (事業の目標④)	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】の「認知症高齢者等登録」に同じ	重点目標3【災害・その他非常時の支援体制が整っている】の「認知症高齢者等登録」に同じ	